

12/25
五種

辺野古新基地に651億円

23年度予算案 馬毛島には546億円

政府は23日、2023年度当初予算案に在日米軍再編経費として2217億円を計上しました。このうち、沖縄県名護市辺野古の米

ぐ過去2番目の金額となりました。

軍新基地建設費として651億円（歳出ペー）を盛り込みました。22年度比で296億円の大幅増で、18年度（816億円）に次

算は2112億円で、22年度と比べ56億円増えました。特別協定分として労務費に1296億円、光熱水料等に234億円、訓練資機材調達費に17億円、訓練移転費に13億円を盛り込みました。提供施設整備費は298億円で、22年度比で31億円増えました。基地内でミサイルから航空機を防護する掩体（えんたい）や整備用格納庫など戦闘に直結した施設を整備します。

9月に新基地建設断念を訴えた「オール沖縄」の玉城デニー知事が再選するなど新基地反対の民意が明確に示される中、民意に反した基地建設を加速させる狙いです。

また、馬毛島（鹿児島県西之表市）への米空母艦載機離着陸訓練（FCLT）移転と自衛隊施設の建設計画に546億円（3億円減）を計上。在沖編の米海兵隊のグアム移転事業に9億円を充てます。

在日米軍駐留費の日本側負担「思いやり予